

Truth 2022 Spring

contents

- 2 特集1 伝統を引き継ぎ、さらなる発展を
- 6 特集2 ようこそ!広島修道大学へ
- 8 研究室の扉
- 10 Topics
「お弁当・お惣菜大賞2022」入選
本学学生が代表を務めるグループが「ひろしまヤングベンチャー大賞」受賞
本学大学院生が日本心理学会学術大会 優秀発表賞を受賞
本学学生が中国新聞キャンパスリポーター賞を2年連続受賞
Hiroshima Tour Guide Programを実施
2年ぶりに留学プログラムを再開 交換留学生8名が韓国に出発
- 12 Campus News
- 16 受賞報告／刊行物
- 17 2022年度前期 修道オープンアカデミー
2022年度 広島修道大学予算
- 18 退職教職員・新任教職員の紹介
- 19 Event Guide
- 20 Circle Information
- 22 Campus Photo Message／アンケート



●表紙撮影場所:3号館エントランスホール

3号館エントランスホールには、建学の精神の由来である「中庸」の一節が書かれた扁額や、本学の歴史について知ることができる年表などが展示されています。

「TRUTH」—そのネーミングの由来—

Since 1972

Truth 真理・真実・真相	大学広報誌のめざすべき、
Rapidly 速く	真理・真実・真相をできるだけ速く、ひろく、しかも思慮深く、
Universally ひろく	誠実に伝えることをモットーとして、ここに「TRUTH」
Thoughtfully 思慮深く	が生まれました。
Honestly 誠実に	

道を修める

「修道」という名は、古典の一つ『中庸』の「天命之謂性 率性之謂道 修道之謂教」(天の命ずるこれを性といい、性に率うこれを道といい、道を修めるこれを教えという)に由来します。この意味は「人間にはそれぞれの天性がある。天性を伸ばすのが人間の道である。その道をしっかりとしたものにするのが教育である。」という意味に解されます。「地球的視野を持って、地域社会の発展に貢献できる人材の養成」を理念、教育目標として掲げ、その精神をもとに、広島修道大学はさらに未来をめざします。



広報誌「TRUTH」は、春・夏・秋・冬と年に4回発行し、保証人の皆さまにもお送りします。本誌へのご意見などありましたら、下記までお寄せください。本誌の記事・写真などの無断転載を禁じます。



広島修道大学

学長室総合企画課

〒731-3195 広島市安佐南区大塚東1-1-1

TEL 082-830-1102 FAX 082-830-1324

WEBサイト <https://www.shudo-u.ac.jp/>



Truth 2022 Spring Hiroshima Shudo University

特集

- ① 伝統を引き継ぎ、さらなる発展を
- ② ようこそ!広島修道大学へ

- 研究室の扉
- Topics
- Campus News
- 受賞報告
- 刊行物
- 2022年度前期 修道オープンアカデミー
- 2022年度 広島修道大学予算
- 退職教職員・新任教職員の紹介
- Event Guide
- Circle Information
- Campus Photo Message
- アンケート



伝統を引き継ぎ、 さらなる発展を

2022年4月より、矢野泉教授が学長に就任し、新体制がスタートしました。今回は、矢野学長より学生の皆さんへメッセージをお伝えするとともに、副学長4名より、それぞれの担当について抱負を述べます。

矢野 泉 (やの いずみ) 学長

商学部教授。広島大学大学院生物圏科学研究科博士後期課程修了。博士(農学)。専門は食料流通学。1996年、本学商学部講師として着任し、翌年より助教授。その後、2001年より広島大学生物生産学部助教授、広島大学大学院生物圏科学研究科准教授を経て、2015年より再び本学に商学部教授として着任。これまでに商学研究科長、ひろしま未来協創センター長、副学長を務め、2022年4月より学長就任。

学長メッセージ

社会の変化にしなやかに立ち向かう

レジリエンス(resilience)という言葉を知っていますか?弾力のある様子や強靭さを表しています。単なる強さではなく、「しなやかな強さ」という日本語訳が一番しっくりくるかもしれません。

社会は常に変化を続けますが、昨今では予想もなかった出来事が世界中で起こっています。この予測不能な社会変化に対して、私たちに必要な力の1つがこのレジリエンスです。逆境に直面したとき、その困難と向き合う力、受け止める力、そこから立ち上がる力、そして成長につなげていく力です。レジリエンスを形作る要素はいくつかありますが、ここでは誇りと多様性をとりあげてみましょう。

個人としてのレジリエンスのためには、まず自分を知ること、そして自分に誇りを持つことが大切です。広島修道大学の歴史や伝統、卒業生の活躍はきっとその助けとなるでしょう。

本学は2020年に4年制大学創立60周年を迎えました。また修道学園は2025年に創始300周年を迎えます。「修道」の由来である「天命之謂性／率性之謂道／修道之謂教」※のとおり、学生のみならずそれぞれが持つ天性(個性)をよい形で伸ばしていく教育の伝統と歴史があります。こうした学びの風土の中で、自分自身と向き合い、自分を知りましょう。海外セミナーや地域での活動、企業・団体でのインターンシップ等、これまで自分が知らなかった世界に飛び込んで学ぶことも、自分を知ることに関与します。

そして、社会や組織としてのレジリエンスにとって大切なものが、多様性です。少し極端な例ですが、もし均一な生物種だけの世界があるとするならば、何かの疫病や気候変動によりその世界は壊滅する可能性があります。多様な生物種や多様な考えがあり、その存在を認めあつてこそ、私たちの社会はレジリエンスを高めていくことができるのです。大学での人や学問との出会いによって、多様性の意義を感じてほしいと思います。

その意味でぜひ注目してもらいたいものが、図書館前広場の「ヴァーツラフ・ハヴェルのベンチ」です。チェコスロバキアの民主化を平和的に主導した初代チェコ共和国大統領ハヴェル氏の遺徳を偲ぶこのベンチは、2021年12月にアジアで初めて本学に設置されました。そのデザインは「多様な価値観を持つ人々が、同じテーブルに座り、議論をすることの大切さ」を表現しています。みなさんもこのベンチに座ってみてください。自分自身や未来、地域社会、政治、平等さまざまな議論を行ってほしいと思います。

広島修道大学で過ごすそうした時間が、みなさんのレジリエンスの土台となり、それぞれの未来を豊かなものになるよう、大学として全力で支援していきます。

学長 矢野 泉

※裏表紙に「修道」の由来についての説明があります。ぜひご覧ください。

副学長メッセージ



増田 尚史(ますだ ひさし)副学長

■主な担当:危機管理、財務、自己点検・評価、研究等 大学運営全般

健康科学部教授。名古屋大学大学院人間情報学研究科博士後期課程単位取得満期退学。博士(学術)。専門は認知心理学。2004年、人文学部助教授として本学に着任後、人文学部教授を経て現職。これまでに人文学部長、健康科学部長を務め、2022年4月より副学長就任。

持続可能な地球と地域のために

近年、接する機会の多いSDGs、カーボンニュートラル、再生可能エネルギーなどの言葉に代表される地球規模の問題の解決に向け、本学も地道な活動を続けています。

たとえば、すでに2002年度から太陽光発電パネルを図書館の屋上に設置していますが、2022年度には新たに3号館の屋上にも設置します。さらに、「カーボンニュートラル達成に貢献する大学等コアリション」(文部科学省・経済産業省・環境省の共同設立)や「中国地域カーボンニュートラル推進協議会」による産学官連携の枠組みを活用しながら、人間環境学部を中心に、環境に配慮した具体的提案能力を持った人材を養成しています。

また、地震や豪雨などの緊急時には、大学としての機能を維持するだけでなく、広島市指定緊急避難場所とし

て地域の方々に安心・安全を提供できるよう、事業継続計画(BCP)を制定しました。一方で、普段から地域の方々に集っていただけるスペースを、学園創始300周年の2025年に竣工予定の新体育館に設けることを検討しています。

広島修道大学は地球と地域が持続可能であるよう、これからも努力し続けます。



3号館



大澤 真也(おおざわ しんや)副学長

■主な担当:学生募集戦略、大学IR活用、情報体制整備

人文学部教授。兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科博士課程単位取得満期退学。修士(教育学)。専門は応用言語学。2002年、人文学部講師として本学に着任後、助教授を経て、現職。これまでに入学センター長、情報センター長を務め、2022年4月より副学長就任。

IRに基づきより良い大学に

2020年度以降、ICTを活用する場面が私たちの生活の中で急速に増えました。大学においてもWeb会議ツールを利用した授業や会議、LMS*と呼ばれる学習履歴やコンテンツをオンラインで管理するためのシステムなどが当然のように使われるようになりました。本学ではパソコンの貸与、学生によるオンライン授業サポート、教材作成や授業を行うスタジオの整備など新たな取り組みを通してこの急速な変化に対応してきました。これらの取り組みは継続しますが、今後は制度や設備の有効性を検証し、より良いものにしていくことが求められます。

私が所属する英語英文学科では、2017年度にほぼすべての活動をオンラインで行う必修科目を開設しました。その科目の有効性を検証するために毎年データを収集・分析して授業の改善に

つなげていますが、このような取り組みを大学全体で行う必要があると考えています。大学という組織単位で行う分析をIR(Institutional Research)と呼びますが、本学にもIR推進室があり、すでに活動しています。確かなデータに基づきこれからの時代に必要とされる大学に変わるための手助けを微力ながらもしていきます。

*LMS=Learning Management System



オンラインスタジオ



羅 星仁(ナソンイン)副学長

■主な担当:教育の質保証体制の整備

人間環境学部教授。京都大学大学院経済学研究科博士後期課程単位取得退学。博士(経済学)。専門は環境経済学。2001年、商学部短期大学部講師として本学に着任後、人間環境学部講師、助教授を経て現職。これまでに人間環境学部長を務め、2022年4月より副学長就任。

大学での生活を通じて自分の成長を

大学の授業で皆さんは、専門的な知識だけではなく、幅広い分野における知識を学修することができます。この学びにより皆さんは、世の中の流れが理解でき、知見が広げられ、自分の可能性を広げることができます。また、授業以外でも学内における学生会・サークル活動やボランティア活動や課題解決型プロジェクトなどへの参加を通じて今までとは異なった新しい経験ができ、自分を大きく成長させることもできます。このような大学生活を通じて身につけた能力は、大学卒業後の社会へのスムーズな移行をサポートし、社会人として自立する上での礎となります。

大学での学びを通じて培った知識や経験が自分を成長させ、卒業後の社会人としての新しい知識や経験はさらに自分を成長させます。このよう

に自分の成長とともに自分の価値観が形成され、最終的には「幸福」の実現につなげていくことができると思います。

大学4年間の学びを通じて将来の幸福の実現に向けた自分の成長を図っていきましょう。大学の教職員全員が全力でサポートします。



授業の様子



竹井 光子(たけい みつこ)副学長

■主な担当:国際・地域・修大協創との連携推進

国際コミュニティ学部教授。広島市立大学大学院情報科学研究科博士後期課程修了。専門は言語学。M.S.(Linguistics)、博士(情報科学)。2005年、法学部講師として本学に着任後、法学部助教授、准教授、教授を経て、現職。これまでに国際センター長を務め、2022年4月より副学長就任。

地域・国際・修大協創と手をたずさえて

「連携」には、「連絡を取り合いながら、協力しながら、手をたずさえて、物事を行うこと」という意味があります。大学は、高等教育機関として単体で機能しているわけではなく、社会とのさまざまな関わりの中に存在しています。それは、地元の地域社会、ボーダーを超えた国際社会、教育機関としての初等・中等教育とのつながり等です。

広島修道大学は、国際平和文化都市、地方中枢都市としての広島に根づいた大学です。また、海外の15の国と地域にある32大学と協定を結び、活発な相互交流の歴史を持っています。さらに、広島修道大学ひろしま協創中学校・高等学校とは、中高大連携教育をめざした試みが続けられています。

2020年、2021年は、コロナ禍によって予想もしなかった困難に直面しました。しかし同時に、それを乗り越えるた

めの工夫が人々の英知と努力によって次々と生まれたのも事実です。先端的なICT技術を駆使したバーチャル国際交流はその一例です。

広島修道大学は、2022年度以降も「地域社会・国際社会・修大協創」と手をたずさえながら、みなさんの学びを深めるため、創意工夫で新たな事業を展開しつつ前進していきます。



広島修道大学ひろしま協創中学校・高等学校

ようこそ! Welcome to Shudai! 広島修道大学へ

新入生の皆さんへ 学部長からのメッセージ



商学部長
仲村 靖 (なかむら やすし)

商学部へようこそ

ご入学おめでとうございます。保証人の皆様にもお慶び申し上げます。
新入生の皆さんはそれぞれに将来の夢をお持ちだと思います。漠然とした夢を実現するには、目的(何のために)を確認し、現状を把握してから、目標に落とし込む必要があります。夢と目標の違いは具体性です。まず目標達成の期限を決める、次に手段を考える。あとは実行。困ったときには周囲の人に相談することも大切です。以上は商学部で学ぶビジネスに通じる考え方です。商学部での学びが皆さんの力となり、夢の実現に近づくことを期待しています。



人文学部長
河口 和也 (かわぐち かずや)

ようこそ人文学部へ

ご入学おめでとうございます。人文学とは、人間とは何か、その本性を探究する学問領域です。人文学部では、社会学、教育学、英語英文学という異なる分野の知見から、複雑な「人間」の多様なあり方を理解します。人間が作る社会、知を伝達する方法としての教育、そして人びとの間の言語やコミュニケーション、また文化としての文学。人文学部では、これらをめぐる知を学ぶとともに、新たな知を創造していきます。その知は、一人ひとりの人間がよりよく生きていくための道具となります。この4年間で、こうした知、そして豊かな想像力を培っていかれることを期待しています。



法学部長
奥谷 健 (おくや たけし)

法学部へようこそ

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。
法学部では、社会問題について、どのように解決していくかを考えていきます。これについて正解は1つだけではないでしょう。そこで、最も合理的な答えを考えることが重要なのです。問題に対する考えは人それぞれです。多くの考えを聞き、自分の考えをまとめ、多くの人に納得してもらえる考えを導き出すことが重要です。そのためには互いに認め合い尊重しなければなりません。そこで、多くの学友と学び、楽しむことも大切です。多くの経験を通して充実した学生生活を過ごしてください。



経済科学部長
前田 純一 (まえだ じゅんいち)

主体的に行動していこう

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。保証人の皆様にもお慶びを申し上げます。
今日から大学生となり、高校生活とはまったく違った生活が皆さんを待っています。大学ではいろいろなことが自由に選択できるようになりますが、その分、自分で考え、判断し、行動することが必要になってきます。待っているだけでは、なかなか前に進むことができないかもしれません。これから始まる大学生活を通じて、自分で主体的に行動していくことを身につけていって欲しいと思います。皆さんの成長していく姿を楽しみにしております。



人間環境学部長
中園 篤典 (なかその あつのり)

人間環境学部へようこそ

ご入学おめでとうございます。現代の環境問題は、気候変動・大気汚染・食糧危機・資源枯渇など自然科学系の問題から、都市計画・地域格差・里山里海保全・リサイクルなど社会科学系の問題まで広がっています。環境に配慮した社会の実現のため、人間環境学部では、社会経済システムを環境的な側面から統合する「環境マネジメント」、持続可能な社会につながるライフスタイルを人々へ発信する「環境教育」という2つのコースを設けています。それぞれ、日常的な実務をテキパキとこなす地に足のついた知力、日常生活を超えた新たな価値観を生み出す大空をかける知力で環境問題にアプローチするものです。人間環境学部で環境問題と人間行動の関わり合いを学び、社会の持続的な発展に貢献できる「道」を探す4年間としてください。



健康科学部長
大森 彰人 (おおもり あきひと)

自分で考え、責任をもって行動する

ご入学おめでとうございます。新型コロナウイルス感染症が蔓延する中での受験はさぞかし大変だったことでしょう。晴れて、大学生になられた皆さんは、学業に専念してもいいし、課外活動に熱中することも、アルバイトに精を出すことも許されています。どこに軸足を置いて大学生活を送るかは、あなたの自由です。しかし、その選択によって生ずる結果はすべてあなたの自己責任です。長いようで短い4年間、健康科学部で何を学び、何を身につけるか、あるいは何にチャレンジするかしっかりと考え、後悔のない大学生活を過ごしてください。



国際コミュニティ学部長
佐渡 紀子 (さどのりこ)

国際コミュニティ学部へようこそ

ご入学、おめでとうございます。国際コミュニティ学部に入学された皆さんは、世界がどのような状態にあり、その影響はどのようなものか、また、日本や地域社会がどのように動いており、人びとが直面する諸課題はどのように解決されるのかに、関心を寄せていることでしょう。皆さんが学ぶ国際政治学・政治学・行政学とは、まさにそのような関心に向き合う学問です。先行きの見えない今だからこそ、多様な経験を通して世界と地域社会のありように向き合い、皆さん自身の手で将来を切り開いていってほしいと思います。よりよい社会を作り上げるための仲間である皆さんと、共に過ごせることを楽しみにしています。

研究室の扉

出木原先生
「ネットワークと情報技術」を語る



ようこそ私の研究室へ

皆さんは生活のなかで、どのくらいネットワークを利用したり、情報技術の恩恵を受けたりしているでしょうか。生まれたときから身のまわりにインターネットやパソコンがある世代をデジタルネイティブと呼んだりもしますが、これを読んでいる人の多くはデジタルネイティブ世代なのではないかと思います。皆さんのまわりを見渡してみても分かるように、私たちの生活は、インターネットなどのネットワークと、スマートフォンやパソコンなどのネットワークに接続できる情報機器に支えられてお



研究室の様子

り、ネットワークは社会基盤の1つになったと言っても過言ではありません。私の主な研究分野としては、ネットワークを基盤とする情報システムに関連するものとして「多次元データ構造」と「情報システム」の2つを、それ以外として「情報教育」を挙げることができます。

研究について

私はもともと3次元空間中で時間経過とともに移動・変化する物体や事象を管理する手法について研究していました。今で言うスマートフォンや自動車両、ドローン、ロボットなどをイメージしてみると分かりやすいかもしれません。3次元空間軸と時間軸を基本とし、場合によってはそれ以外の情報軸も組み合わせ、時空間や多次元に基づいたデータのグループ化(データ構造)や、管理する手順(アルゴリズム)を新しく考案し、ネットワーク環境下での運用を想定してそれらのデータ群をいかに効率よく管理するかということを「管理す

る側」から研究していました。研究では、自身のアイデアをプログラミングして実装し、数値実験やシミュレーション実験を行って最新の手法や従来法と比較して、その有用性を評価していきます。これが前述した「多次元データ構造」に関する研究になります。

そのような研究をしていましたが、情報技術の発展や蓄電装置の小型化、無線技術の普及などにより、スマートフォンやドローンなどの「管理される側」の情報機器が高機能化していき、できることが増えていきました。それに伴って研究対象が管理する側から管理される側であるネットワーク端末の機器にも広がっていきました。現在、いわゆるIoT(Internet of Things:モノのインターネット)やエッジコンピューティング(エッジとはネットワークの終端装置を指す)と呼ばれている分野になります。別の言葉で言うと、ネットワークを利用する多種多様な情報システムに関する研究になるかと思いますが、前述した「情報システム」に関する研究がこれに該当しま

す。この分野は、常に最新技術が導入されている分野であり、私自身も日々勉強しながら研究を進めています。最近のもので言うと、複数のネットワーク経路を利用するIoTの安全な通信方式やデータ管理方式に関する研究や、機械学習(いわゆる人工知能)を利用した人の動きを認識して活用する情報システムに関する研究などを行っています。



実験風景

写真は後者の研究の実験風景です。パソコンを利用している被験者の顔の表情や手指の動きを機械学習に基づいた機能で自動認識して追跡し、電子データ化するシステムの開発中の試作機になります。情報機器の評価や、リモート作業中の作業員および遠隔授業中の学習者などの動態観測システムなどへの応用を想定しています。この研究は、大阪工業大学の先生を研究代表者として、豊橋創造大学や広島国際大学などの先生達と一緒に分担研究者の一員として進めています。このように異なる分野の先生達と一緒に研究することは、私にとって非常に刺激的な研究活動になります。その他として、最近では情報教育に関する研究にも取り組んでいます。e-Learningのシステムを開発したり、教育コンテンツを開発したり、ハイブリッドな遠隔授業を試験的に試したり、多様なアプローチで研究を行っています。特に、第四次産業革命の技術革新に数えられるIoTや人工知能に関連した情報技術の教育に注目しています。第一次産業革命の蒸気機関、第二次産業革命の電力、第三次産業革命の情報通信技術のように、IoTや人工知能は、世の中を変え得る技術革新と

して期待されています。しかしながら、IoTや人工知能は新しい技術であり、まだまだ体系化されていないため、手探りで学習しているのが現状であり、この課題に共同研究者達と一緒に取り組んでいました。

ゼミナールについて

これまで述べてきたように、私の研究分野は色々な分野に関連した複合領域であり、その範囲は比較的広いものになっています。したがって、私のゼミナールでは、インターネットやネットワークを利用する情報システムに関連するものや、その環境下で発生する事象であれば、学生自身が興味関心のあるものを比較的柔軟に卒業研究の研究テーマとして採用しています。2021年度の4年生は、機械学習を応用したWebページの自動配色システムやテコンドーの型の認識システム、COVID-19の影響下におけるオンライン美容カウンセリングの実態調査、療育へ情報技術を応用する可能性など、多種多様なテーマを学生自身が考えて選定し主体的に研究を進めてきました。写真はそんな学生達の卒業研究から抜粋した資料になります。一つ目は機械学習を利用したペットの動態を観察するシステムの実験風景の写真です。学生自身のペットであるヒョウモントカゲモドキの飼育を支援するシステムを開発したいという思いが研究の動機づけにあります。また、二つ目はCOVID-19の影響下におけるアーティストのSNS情報をテキストマイニングした結果の1つになり



動態を観察するシステムの実験風景

ます。こちらも学生が応援するアーティストの活動を深く知りたいという思いが研究の動機づけになっています。



アーティストのSNS情報をテキストマイニングした結果
※UserLocalテキストマイニングで分析

おわりに

私自身が考える研究活動で大切にしたいものとして、知的な好奇心や探求心といった研究への情熱を挙げることができると思います。私自身、興味関心があるテーマに挑戦してきた結果として、研究の幅が広がっていきました。今後もネットワークと情報技術を組み合わせた研究に取り組んでいきたいと思います。自分の情熱を傾けることができる研究テーマに取り組んで、積極的に研究活動を行って自己研鑽してほしいと考えています。



プロフィール

経済科学部教授
出木原 裕順(ではらひろゆき)
広島市立大学大学院 情報科学研究科
情報科学専攻博士後期課程修了 博士(情報工学)
専門分野: 多次元データ構造、
情報システム、情報教育
主要研究テーマ: 多次元データ構造・
情報システム・
実習教材の開発とその応用

Topics 1 「お弁当・お惣菜大賞2022」入選(1/12)

1月12日、健康科学部健康栄養学科の学生と株式会社藤三が共同開発したおむすび2種が「お弁当・お惣菜大賞2022」(デリカテッセン・トレードショー主催者企画)に入選しました。



おにぎり部門 おこむす
寿司部門 大葉香る!ちらし握り&レモンとイカ天ちらし握り

「お弁当・お惣菜大賞」とはスーパーマーケットやコンビニエンスストア、専門店等で実際に販売している数多くのお弁当・お惣菜・サラダ・パン等の中から、食の専門家で構成された審査員により、特に優れた商品を選出し表彰するプログラムで、今回で11回目を迎えます。

今回の共同開発は、藤三から本学の「ひろみらシンクタンク」*へ「食を通じた広島活性化」や「新しい発想力による商品開発のアドバイス」について依頼を受け、実現しました。2021年7月より学生たちが打ち合わせや試作を重ね、藤三が商品化し、2021年11月に藤三、ビックハウス全店で販売しました。

*ひろみらシンクタンク…本学の教員が有する教育に関するシーズを、地域社会の様々なニーズにマッチングさせるための仕組み



Topics 2 本学学生が代表を務めるグループが「ひろしまヤングベンチャー大賞」受賞

商学部3年高上拓也さんが、「第28回ひろしまベンチャー助成金[学生枠]」で、ひろしまヤングベンチャー大賞を受賞しました。

ひろしまベンチャー助成金は、広島県内に在住または在学している学生の新規性・独創性または地域貢献性のあるビジネスアイデアや事業プランに対し、公益財団法人ひろしまベンチャー育成基金が助成を行う取り組みです。

高上さんは、複数の広島県内企業が関わるプロジェクト学習型のインターンシップに参加し、他大学の学生3名と考案した事業プラン「体験を手元に残すカードコレクションゲーム～Yattem!(ヤッテミ)～しぜんに学び、きたいを何度も」をチームでひろしまベンチャー助成金[学生枠]に応募し、今回の受賞となりました。高上さんは、チームで代表を務めて取り組んでいます。

同プランは、中山間地域の観光産業の発展と交流人口の増加を目的に、体験スポットとカード収集を結びつけることで、都市部に住む子連れ家族の回遊を促します。

今後は、新型コロナウイルスの状況をみながら、プランの実現に向けて活動を行っていく予定です。



Topics 3 本学大学院生が日本心理学会学術大会 優秀発表賞を受賞

人文科学研究科心理学専攻博士前期課程1年藤川真子さんが、日本心理学会学術大会の優秀発表賞を受賞しました。同賞は、公益社団法人日本心理学会が主に若手研究者による研究発表の奨励と研究の質の向上を目的として設けたものです。

藤川さんは、「日本心理学会第85回大会」での一般研究発表(ポスター発表)において、「多数派同調バイアスは存在するのかわ?」という題目で、人には多数派の行動を過剰に模倣する傾向があるかということについて研究した内容の発表を行い、今回の受賞となりました。

藤川さんの研究発表は、日本心理学会のWEBサイトで公開されています。

■学術大会優秀発表賞(公益社団法人日本心理学会WEBサイト)
<https://psych.or.jp/prize/conf/>



Topics 4 本学学生が中国新聞キャンパスリポーター賞を2年連続受賞(2/26)

2月26日、中国新聞社にて、2021年度キャンパスリポーター賞の表彰式が開催され、人文学部3年藤原杏さんがキャンパスリポーター賞優秀賞を受賞しました。

キャンパスリポーター制度は、学生が学内のニュースを学生ならではの視点で掘り起し、取材時の調整から記事の執筆や投稿まで行い、中国新聞の紙面やWEBサイトを通じて積極的に発信するものです。

藤原さんは、本学の事業や学生の活動などを積極的に取材し、2021年は年間で16本の記事を発信しました。取り上げるニュースのユニークな切り口や、コロナ禍であっても衰えない取材への熱意が評価され、昨年度に引き続き2年連続での優秀賞受賞となりました。今後の益々の活躍が期待されます。



藤原さん:前列右から2人目

Topics 5 Hiroshima Tour Guide Programを実施(3/10、11)

3月10日、11日、「Hiroshima Tour Guide Program」を実施し、学生12人が参加しました。本プロジェクトは、例年行っていた英語のみを使用する宿泊「Spring English Camp」の代わりとして今年度初めて実施しました。平和記念公園及び宮島等を訪問しプロのツアーガイドから英語での表現を学び、実際に英語ガイドの実践を行いました。コロナ禍ということを鑑み、宿泊は伴わずに行いました。英語ガイド実践の他に被爆者講も聴くことで広島への理解を深め、海外の人々によりよく広島を伝えるためのスキルを学びました。



Topics 6 2年ぶりに留学プログラムを再開 交換留学生8名が韓国に出発(2/11、16)

2月11日、16日、新型コロナウイルス感染症の影響で中断していた派遣留学プログラムを約2年ぶりに再開し、交換留学生8名(啓明大学校2名、淑明女子大学校2名、仁川大学校4名)が韓国に出発しました。

学生達は2回のワクチン接種を完了し、ワクチンパスポートを取得してから出発しました。韓国入国後7日間の隔離期間を経て、それぞれの大学で留学生生活を始めます。

事前のオリエンテーションでは、コロナ禍の留学における危機管理について重点的に指導を行い、渡航する学生は渡航先の新型コロナウイルス感染症の状況や医療体制について調べ、留学中にも自ら危機意識を持って行動できるよう、対策を考えてから出発しました。

韓国での半年間または1年間の留学経験で多くのことを学び、地球的視野を持つ人材に成長することを期待しています。



news
1 学長表彰者

2021年度学長表彰受賞者が以下の通り決定しました(敬称略、学部・学科・学年は2021年度)。学長表彰は、本学の学生または団体が、学術・芸術・社会・文化活動などの分野において他の模範となり、本人または団体並びに本学の荣誉になるものを表彰する制度です。

また、本学では課外活動スカラシップ制度を設けており、学業、人物ともに優れ、特に文化・体育などの活動に顕著な実績をあげた者(対象:学長賞受賞者)に奨学金を支給しています(金額は団体30万円、個人10万円)。今回は3個人に対して支給されます。新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、大幅に活動が制限されたこともあり、対象団体はありませんでした。

学 長 賞

●**団体 (0)**

該当団体なし

●**個人 (3)**

■**河野 通馬(健康科学部健康栄養学科3年生)テコンドー部**
 第33回全日本学生テコンドー選手権大会(12月5日)マツギ有級男子-58kgの部に出場し、優勝。同大会トゥル有級男子青・赤帯の部に出場し、3位。

■**橋口 詩穂(人間環境学部人間環境学科4年生)スカッシュ部**
 第40回関西学生スカッシュ選手権大会(11月6日～11月8日)において準優勝し、全国大会の出場権を獲得。第48回全日本学生スカッシュ選手権大会(12月4日～12月6日)選手権男子に出場し1回戦突破。
 ○2018年度 学長奨励賞受賞

■**難波 優奈(国際コミュニティ学部国際政治学科4年生)スカッシュ部**
 第40回関西学生スカッシュ選手権大会(11月6日～11月8日)においてベスト3に入り、全国大会の出場権を獲得。第48回全日本学生スカッシュ選手権大会(12月4日～12月6日)選手権女子に出場し2回戦突破。

学 長 奨 励 賞

●**団体 (0)**

該当団体なし

●**個人 (19)**

■**竹下 耀太郎(健康科学部心理学科4年生)テコンドー部**
 第33回全日本学生テコンドー選手権大会(12月5日)マツギ有段男子-58kgの部に出場し、優勝。
 ○2019年度 学長奨励賞受賞

■**竹明 あんず(健康科学部心理学科3年生)テコンドー部**
 第33回全日本学生テコンドー選手権大会(12月5日)トゥル女子赤帯の部に出場し、1回戦突破。

■**福田 光紀(商学部商学科3年生)サッカー部**
 HiFAアウォーズ2021年間優秀選手(第1種・大学)表彰。第35回デンソーカップチャレンジサッカー熊谷大会(3月3日～3月7日)に選抜出場。

■**橋本 礼央(商学部商学科2年生)弓道部**
 第54回中国学生弓道競技大会(4月24日～25日)個人の部男子において3位獲得。第69回全日本学生弓道選手権大会個人予選(7月3日)を通過し、本戦(8月11日～13日)男子個人の部に出場。

■**浅田 朋揮(人文学部教育学科2年生)弓道部**
 第54回中国学生弓道競技大会(4月24日～25日)最高の中者男子の部に選出。第69回全日本学生弓道選手権大会個人予選(7月3日)を通過し、本戦(8月11日～13日)の出場権を得た。

■**草本 敦慈(人間環境学部人間環境学科3年生)弓道部**
 第27回中四国学生弓道新人戦(3月13日～14日)で行われた第26回大会個人戦男子の部において優勝。第69回全日本学生弓道選手権大会個人予選(7月3日)を通過し、本戦(8月11日～13日)の出場権を得た。

■**坂本 連太郎(国際コミュニティ学部国際政治学科3年生)硬式野球部**
 第109回広島六大学野球2021年春季リーグ戦(4月3日～5月16日)において、首位打者賞及びベストナイン(捕手)を受賞。

■**金子 大輝(商学部商学科4年生)硬式野球部**
 第109回広島六大学野球2021年春季リーグ戦(4月3日～5月16日)において、ベストナイン(外野手)を受賞。
 ○2019年度 学長奨励賞受賞

■**竹之内 晴生(商学部商学科2年生)硬式野球部**
 第110回広島六大学野球2021年秋季リーグ戦(8月28日～10月24日)において、ベストナイン(3塁手)を受賞。

■**山本 高史(国際コミュニティ学部地域行政学科4年生)代議委員会、環境サークルがんばり**
 2019年10月25日、学生ボランティアとして、地域の記事で取り上げられた(中国新聞「ぐるっとわがまち」)。2021年12月5日、佐伯区役所地域起こし推進課主催「まるごと元気」地域コミュニティ活性化補助金活動報告会に参加して、インタビューを受けた。

■**藤原 杏(人文学部人間関係学科3年生)中国新聞キャンパスリポーター**
 2020年度キャンパスリポーター賞(教育ネットワーク中国・中国新聞社共催)において優秀賞を受賞。本学行事の取材や企業の社長にインタビューを行う「学生リポーターが聞く」、サークル活動を紹介する「サークルFILE」などあらゆるコーナーに出稿する積極性が評価された。新型コロナウイルス感染症で例年のような活動はできない中、2020年に中国新聞に11本の記事を執筆・掲載された。

■**山田 幸竜(法学部法律学科4年生)スカッシュ部**
 第40回関西学生スカッシュ選手権大会(11月6日～11月8日)においてベスト3に入り、全国大会の出場権を獲得。第48回全日本学生スカッシュ選手権大会(12月4日～12月6日)選手権男子に出場し1回戦突破。
 ○2019年度 学長賞受賞(1回戦突破)

■**青砥 彩希(健康科学部心理学科4年生)スカッシュ部**
 第40回関西学生スカッシュ選手権大会(11月6日～11月8日)においてベスト8に入り、全国大会の出場権を獲得。第48回全日本学生スカッシュ選手権大会(12月4日～12月6日)選手権女子に出場し1回戦突破。
 ○2018年度 学長奨励賞受賞
 ○2019年度 学長賞受賞(2回戦突破)

■**武田 万葉(国際コミュニティ学部国際政治学科3年生)スカッシュ部**
 第40回関西学生スカッシュ選手権大会(11月6日～11月8日)においてインカレ決定戦で勝利し、全国大会の出場権を獲得。第48回全日本学生スカッシュ選手権大会(12月4日～12月6日)選手権女子に出場。
 ○2019年度 学長奨励賞受賞

■**中津井 佑哉(商学部経営学科4年生)スカッシュ部**
 第40回関西学生スカッシュ選手権大会(11月6日～11月8日)においてベスト4に入り、全国大会の出場権を獲得。第48回全日本学生スカッシュ選手権大会(12月4日～12月6日)選手権男子に出場。
 ○2018年度 学長奨励賞受賞

■**大畠 菜摘(経済科学部経済情報学科2年生)スカッシュ部**
 第40回関西学生スカッシュ選手権大会(11月6日～11月8日)においてインカレ決定戦で勝利し、全国大会の出場権を獲得。第48回全日本学生スカッシュ選手権大会(12月4日～12月6日)選手権女子に出場。

■**丸下 桃果(経済科学部経済情報学科2年生)スカッシュ部**
 第40回関西学生スカッシュ選手権大会(11月6日～11月8日)においてインカレ決定戦で勝利し、全国大会の出場権を獲得。第48回全日本学生スカッシュ選手権大会(12月4日～12月6日)選手権女子に出場。

■**平賀 萌(商学部商学科3年生)スカッシュ部**
 第40回関西学生スカッシュ選手権大会(11月6日～11月8日)においてベスト4に入り、全国大会の出場権を獲得。第48回全日本学生スカッシュ選手権大会(12月4日～12月6日)選手権女子に出場。

■**杉村 優輝(経済科学部経済情報学科3年生)スカッシュ部**
 第40回関西学生スカッシュ選手権大会(11月6日～11月8日)においてベスト16に入り、全国大会の出場権を獲得。第48回全日本学生スカッシュ選手権大会(12月4日～12月6日)選手権男子に出場。

news
2 資格取得学生表彰者

2021年度資格取得学生表彰者が以下のとおり決定しました(敬称略、学部・学年は2021年度)。資格取得学生表彰は、本学学生の国家資格等の取得を奨励するために設けられた制度です。また、本学では資格取得スカラシップ制度を設けており、本学学生で学業、人物ともに優れ、特に難易度の高い資格を取得した者について奨学金を支給しています。この資格取得奨学生は資格取得学生表彰最優秀賞または、優秀賞の学部生が対象で、最優秀賞には5万円、優秀賞には3万円が給付されます。今回、24名の学生が本奨学金を受給することになりました。

資格取得学生表彰

●**最優秀賞**

該当なし

●**優秀賞**

■**行政書士**
 高藤 真歩(法4)、中居 潤稀(法3)、野津 改周(法3)

■**心理学検定(特1級)**
 大林 巧幹(健康科4)、鳥井 冨香(健康科4)、藤本 大祐(健康科3)、後藤 真登(健康科2)、竹西 海人(健康科2)

■**宅地建物取引士**
 大瀬戸 理沙(商4)、西川 岳登(商4)、舟木 天志(商4)、崎本 雄斗(人文4)、川村 晴香(健康科4)、新林 美音(健康科4)、平山 佳悟(商3)

■**実用英語技能検定(英検)(1級)**
 吉本 絢(人文4)、渡邊 伊織(人文4)

■**TOEIC Listening & Reading Test**
 山本 堪太(875点)(商3)、大井 知之(880点)(人文3)、山口 桃佳(945点)(人文3)、青木 康太郎(900点)(国際コミュニティ3)

■**TOEIC Listening & Reading Test-IP**
 石川 正洋(915点)(商4)、山田 和輝(880点)(人文1)

■**IELTS(7.0)**
 青木 康太郎(国際コミュニティ3)

■**応用情報技術者**
 澤本 歩美(経済科4)

■**日商PC検定試験(文書作成)(1級)**
 江刺 かな子(人文4)、中越 知世(人文3)、森岡 奈々(人文3)

■**韓国語能力試験(6級)**
 畑田 菜摘(商4)

●**努力賞**

■**心理学検定(1級)**
 岸川 稜(健康科4)、鳥井 冨香(健康科4)、平木 友梨(健康科4)、石橋 佳歩(健康科3)、伊藤 万夏(健康科3)、今井 雅貴(健康科3)、小林 楓花(健康科3)、世良 大輝(健康科3)、薦 祥太郎(健康科3)、野田 翔輝(健康科3)、原田 朋弥(健康科3)、山本 今日香(健康科3)、和田 まなか(健康科3)

■**日商簿記検定(2級)**
 平西 春菜(商4)、貞谷 光一郎(経済科4)、松崎 友哉(経済科4)、杉本 涼(商3)、明見 知浩(商3)、森内 拓斗(経済科3)、東 奏汰(商2)、田中 紗羅(商2)、三田 健司(健康科2)

■**リテールマーケティング(販売士)(2級)**
 杉元 祐斗(商2)

■**実用英語技能検定(英検)(準1級)**
 大井 知之(人文3)、北岡 航祐(国際コミュニティ2)

■**TOEIC Listening & Reading Test**
 中原 壮太(790点)(商3)、土井 悠太(770点)(法2)

■**TOEIC Listening & Reading Test-IP**
 青木 康太郎(780点)(国際コミュニティ3)

■**広島県地域通訳案内士**
 芥川 和花(人文3)

■**ファイナンシャル・プランニング技能士(2級)**
 森内 拓斗(経済科3)、神庭 さわ(国際コミュニティ3)

■**保育士**
 佐古 佳奈美(国際コミュニティ4)

■**法学検定(スタンダード)(中級)**
 今中 誠宏(法4)、梶原 巧貴(法2)、松本 桂典(法2)

■**日本漢字能力検定(2級)**
 野津 改周(法3)、西本 直人(国際コミュニティ3)、井手野下 智(国際コミュニティ3)、山本 航平(商2)

■**ITパスポート**
 河野 蓮馬(商2)、北岡 航祐(国際コミュニティ2)

■**Excel表計算処理技能認定試験(1級)**
 木元 優里(人文4)、上保 美南(人文3)、中越 知世(人文3)、甲斐 啓暉(人文2)、本田 夏鈴(人文2)

■**MOS Excel(Expert)**
 西本 直人(国際コミュニティ3)、末松 遥香(人文2)、北岡 航祐(国際コミュニティ2)

■**MOS PowerPoint**
 高嶋 愛依梨(健康科3)

■**MOS Word(Expert)**
 末松 遥香(人文2)、北岡 航祐(国際コミュニティ2)

■**Word文書処理技能認定試験(1級)**
 青木 麻衣子(人文3)、上保 美南(人文3)、大國 萌智(人文3)、中越 知世(人文3)、藤井 光理(人文3)、藤原 杏(人文3)、森岡 奈々(人文3)

■**3R・低炭素社会検定**
 神川 未鈴(人間環境3)、高橋 未佳(人間環境2)

■**防災士(認証)**
 寺下 もも(商4)、岩田 佳吾(商2)、岡嶋 佑介(商2)、村上 竜一(商2)

■**医療保険士**
 中村 初菜(国際コミュニティ3)

■**医科医療事務技能認定試験**
 杉本 和奏(経済科4)

■**介護事務管理士**
 杉本 和奏(経済科4)

■**登録販売者**
 藤井 玲圭(健康科3)

news 3 名誉教授・特別名誉教授の称号を授与

2021年度に退職された、上谷均教授、高橋恭一教授、矢部恒夫教授、和田涼子教授へ、本学での長年の功績に対して名誉教授の称号が授与されました。また、有定愛展教授へ特別名誉教授の称号が授与されました。

(有定愛展教授は、2022年2月1日逝去されました。心よりお悔やみ申し上げます。)



news 4 2022年度 特別客員教授紹介

2022年度、特別客員教授15名が決定しました。

市原 則之氏	(公財)日本オリンピック委員会名誉委員 (一社)日本トップリーグ連携機構専務理事 (公社)日本ダンススポーツ連盟副会長 (公財)日本ハンドボール協会顧問 (学)広島山陽学園理事長 元日本オリンピック委員会副会長兼専務理事	山本 明弘氏	広島市信用組合理事長 全国信用協同組合連合会会長
田口 信教氏	鹿屋体育大学名誉教授 ミュンヘンオリンピック競技大会水泳金メダリスト 医療創生大学常務理事	森信 秀樹氏	森信建設(株)代表取締役 広島経済同友会特別幹事
坪井 宏氏	広島信用金庫相談役	細川 匡氏	デリカウイング(株)取締役会長 (株)FMIはつかいち代表取締役社長 廿日市商工会議所名誉会頭
川平 伴勲氏	(株)あじかん社外取締役(監査等委員)	隈元 美穂子氏	国連ユニタール持続可能な繁栄局長 兼国連ユニタール広島事務所長
吉田 隆行氏	坂町町長	見延 典子氏	作家 頼山陽記念文化財団理事 JOIN(移住・定住推進機構)大使
山本 孝昭氏	(株)ドリーム・アーツ代表取締役社長	上田 宗岡氏	茶道上田宗箇流家元 (公財)上田流和風堂理事長
山崎 良子氏	(学)駿河台学園理事長	AZIMI, Nassrine氏	グリーン・レガシー・ヒロシマ・イニシアティブ代表者
三島 豊氏	三島食品(株)代表取締役会長		

news 5 2021年度地域つながるプロジェクト・地域つながるスタートアッププロジェクト活動報告会を開催(2/25)



2月25日、学生が地域活動を行う「地域つながるプロジェクト」とその準備段階の活動を行う「地域つながるスタートアッププロジェクト」の活動報告会を3101教室で開催しました。また、学外の参加者に向けてZoomによる配信も行いました。

今年度はコロナ禍の中、4件の地域つながるプロジェクトが活動しました。活動内容を発表したプレゼンテーションやポスターセッション等で審査した結果、最優秀賞に「YukiTube ～湯来町をもっと湧かせよう～」、プロジェクトマネジメント賞に「防災意識を高めるプロジェクト」、ポスター賞に「子どもがつくるまち in 串戸」、地域連携賞に「ワクワクいっぱい!湯来の魅力」が選ばれました。また、4件の地域つながるスタートアッププロジェクトもプレゼンテーションによる活動報告を行いました。

news 6 体験実践論報告会をWEB開催(1/19~28)

1月19日~28日、体験実践論のWEB報告会を実施しました。体験実践論は、国際コミュニティ学部の1年次生が第3学期(夏季休暇を含む8月から11月中旬まで)に実践した学外学習(体験実践)の経験をふり返ることで学びとのつながりを発見し、他者にその気づきを語る「体験の言語化」プロセスを学ぶ授業です。

広島県を中心とする多くの自治体等での実習に加え、海外の受け入れ先とは、オンラインでの実習を行いました。実

習後、グループで「自分たちの体験」、「体験をもとに見いだした社会課題」、「それら社会課題への理解を深めるために、今後の大学での学び」の3点をポスターにまとめました。昨年度に引き続き開催したWEB報告会では、学生たちが作成したポスター解説動画を体験実践でお世話になった実習受け入れ先の方などに向けて公開、複数の感想が寄せられました。

news 7 『若者世代に贈る広島広域都市圏での「仕事暮らし」方』プロジェクト成果報告会を開催(2/13)

2月13日、広島市の「広島広域都市圏地域貢献人材育成支援事業」として採択された『若者世代に贈る広島広域都市圏での「仕事暮らし」方』プロジェクトの成果報告会として、「私たちのシゴト暮らしー人生の転機を語る会ー」をNPO法人ひろしまジン大学と協働し、オンラインにて開催しました。当日は、本学学生・教職員、一般社会人、NPO法人ひろしまジン大学メンバー、広島市等行政関係者等43名が参加しました。

報告会では、これまでの成果報告だけではなく、作家の清水浩司さんと学生・社会人によるトークセッションや参加者全員によるグループワークを行いました。『大学生が本当に知りたい・訊きたい「キャリア(仕事×暮らし方)」とは何か』を題材に、それぞれの人生を語り合い・尋ね合い、自分に向き合う時間となりました。



news 8 広島県観光連盟と連携し「学生の観光研究発表会」を開催(2/9)

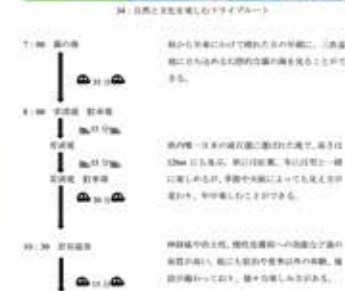
2月9日、商学部 富川久美子教授と金徳謙教授のゼミナールが広島県観光連盟と連携して「学生の観光研究発表会」を開催し、広島広域都市圏地域貢献人材育成支援事業やゼミナール活動の成果を発表しました。発表会には、本学関係者約50名、観光関連事業者や観光協会、自治体関係者等約30名の計約80名が参加しました。



大久野島の3Dマップ

当日は、大久野島の観光と課題、3Dマップ、三次市の主要観光資源に関する口コミ分析とGISマップ、温泉観光地の発展と観光客の志向、GISを用いた地域調査の発表を行いました。

参加者からは地域研究への感謝や、今後の授業へのご支援、マップ作成のコラボ提案などのご意見を頂きました。今回の発表は主に後期授業の成果であったため、今後も継続した活動による研究の広がりが期待されます。



三次市の主要観光資源に関する口コミ分析とGISマップ 報告書

news 9 合同企業説明会をWEB開催(2/14~25)

2月14日~25日の9日間、3年生を対象とした合同企業説明会を、コロナ禍における学生・企業担当者双方への安全を考慮し、昨年度に引き続きオンライン形式(Zoom)で開催しました。企業・団体からは249社に参加いただき、延べ2,553名の学生が説明会に臨みました。

学生は事前に郵送された冊子や、就職支援システムで配信された企業情報をもとに、自らの将来、人生を考えながら自宅等から積極的に参加しました。今後も、学生・企業の情報を収集・分析し、状況に応じた就職支援等を展開していきます。

news 10 「グローバル・プロジェクトB」代替オンラインプログラムを実施(2/8~18)

2月8日~18日、国際コミュニティ学部の「グローバル・プロジェクトB」で予定していた海外現地での実習の代替として、オンラインプログラムを実施しました。履修者10名は、ポートランド州立大学(PSU)とオンラインでつなぎ、PSUの学生・教職員との交流や現地のゲストスピーカーと4つのトピックス(歩行者保護、気候変動、高齢化する社会への対応、D.E.I.(多様性・公正性・包摂性))についてのディスカッション等を行いました。最終日には、最終報告会を行い、本授業で学んだことに加え



て、4つのトピックスについて日本や広島の取り組み事例紹介、対応策・解決策の提案を行いました。また対応策・解決策を参加者と一緒に考える場も設け、4つのトピックスの理解をさらに深めました。最終報告会は人文学部英語英文学科通訳コースの学生が逐次通訳を担当し、学部を超えたコラボレーションも実現しました。

news 11 本学学生が「第6回廿日市市生徒会サミット」にてファシリテーターを務めました (1/21)



1月21日、「第6回廿日市市生徒会サミット」にて健康科学部心理学科 西野泰代教授のゼミ生9名がファシリテーターを務めました。

「廿日市市生徒会サミット」は、各校の生徒会活動の取り組みの交流や協議を通して、廿日市内の中学校の生徒会活動の活性化を図るとともに、自分たちの学校生活での諸問題を自らの手で解決しようとする自主的・実践的な態度を育むことを目的に廿日市市教育委員会が開催しており、廿日市内全中学校の生徒会執行部の生徒が参加しています。

第6回を迎える今回は、新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑み、オンライン上にて開催しました。サミットでは、「いじめをなくすために私たちができること」というテーマで活発な協議が行われました。

本学の学生は、ファシリテーターとして、日ごろ学んでいる知識を活かし、グループ協議の中で中学生たちが意見を言いやすくなるような促しや議論を円滑に進めるための舵取りを行いました。サミットへの参加は普段学んでいる心理学の知識を活かすことに加え、この2年間に習熟したオンラインミーティングでのスキルを十分に発揮する機会となりました。

Open Academy

2022年度前期 修道オープンアカデミー

生涯を通じた学びに対応するため、「修道オープンアカデミー」を開講しています。

「修道オープンアカデミー」は、高校生以上の一般市民を対象としており、無料の「公開講座」、有料の「エクステンション講座」で構成されています。

修道オープンアカデミーの詳細は、以下のURLまたはQRコードからご確認ください。

URL: <https://www.shudo-u.ac.jp/kouryuu/openacademy/index.html>



お問い合わせ

ひろしま未来協創センター

TEL 082-830-1407(直通) FAX 082-830-1932

メールアドレス gaku kou@js.shudo-u.ac.jp

受賞報告

商学部 川原直毅教授に中国経済産業局より中国経済産業局功労者等感謝状を授与

商学部 川原直毅教授の経済産業省への貢献に、中国経済産業局より中国経済産業局功労者等感謝状が授与されました。中国経済産業局功労者等感謝状とは、経済産業省の施策遂行に対する協力や支援に顕著な活動が認められる功労者等に対し、中国経済産業局長から感謝状を交付されるものであり、今年度は4名に授与しました。川原教授は18年にわたり経済産業省の中小企業支援に協力しており、マーケティングリサーチやブランド戦略等の専門知見を活かし、中小企業等の活躍及び地域の発展に貢献しました。



2022年度 広島修道大学予算

2022年度予算は、中期事業計画および財政計画に基づき策定しました。

重点事業として、新体育館等設計監理にかかる業務やグローバルラーニングスタジオ機器更新にかかる経費などを計画しています。また、2020年度から始まった修学支援新制

度にかかる奨学金や、留学・インターンシップ・課外活動における奨学金など学生の学びを支援する教育経費を計上しています。7号館改修工事や3号館太陽光パネル設置工事などの施設設備の充実も進めています。

■ 2022年度 広島修道大学資金収支予算書 総括表

(単位:千円)

収入の部		本年度予算額	前年度予算額	前年度比
科目				
学生生徒等納付金収入	6,545,039	6,645,769	98.5%	
手数料収入	179,866	186,798	96.3%	
寄付金収入	30,110	6,110	492.8%	
補助金収入	887,524	818,467	108.4%	
付随事業・収益事業収入	5,751	50,729	11.3%	
受取利息・配当金収入	262,723	206,638	127.1%	
雑収入	127,277	153,095	83.1%	
借入金等収入	0	0	—	
前受金収入	1,233,510	1,249,940	98.7%	
その他の収入	526,320	617,427	85.2%	
(内数)退職給与引当特定資産取崩収入	161,749	168,314	96.1%	
(内数)減価償却引当特定資産取崩収入	237,278	149,188	159.0%	
内部取引収入	51,757	51,515	100.5%	
資金支出調整勘定	△ 1,359,599	△ 1,272,280	106.9%	
前年度繰越支払資金	3,665,904	3,530,965	103.8%	
収入の部 合計	12,156,182	12,245,172	99.3%	

■ 2022年度 学校法人修道学園本部・広島修道大学事業活動収支予算書 総括表

(単位:千円)

科目		本年度予算額	前年度予算額	前年度比	
事業活動収入の部	学生生徒等納付金	6,545,039	6,645,769	98.5%	
	手数料	179,866	186,798	96.3%	
	寄付金	35,111	11,111	316.0%	
	経常費等補助金	887,524	818,467	108.4%	
	付随事業収入	5,751	50,729	11.3%	
	雑収入	127,277	153,095	83.1%	
	教育活動収入計	7,780,568	7,865,969	98.9%	
	人件費	4,292,326	4,328,320	99.2%	
	(内数)退職給与引当金繰入額	105,408	292,906	36.0%	
	教育研究経費	3,084,720	2,853,034	108.1%	
事業活動支出の部	(内数)減価償却額	716,902	749,901	95.6%	
	管理経費	422,235	393,366	107.3%	
	(内数)減価償却額	46,030	51,947	88.6%	
	徴収不能額等	1	1	100.0%	
	教育活動支出計	7,799,282	7,574,721	103.0%	
	教育活動収支差額	△ 18,714	291,249	—	
	受取利息・配当金	262,723	206,638	127.1%	
	その他の教育活動外収入	3,000	3,700	81.1%	
	内部取引収入	91,356	76,420	119.5%	
	教育活動外収入計	357,079	286,757	124.5%	
事業活動外収入の部	借入金等利息	0	0	—	
	その他の教育活動外支出	0	0	—	
	内部取引支出	8,000	8,700	92.0%	
	教育活動外支出計	8,000	8,700	92.0%	
	教育活動外収支差額	349,079	278,057	125.5%	
	経常収支差額	330,365	569,306	58.0%	
	特別収入の部	資産売却差額	0	0	—
		その他の特別収入	1	1	100.0%
		特別収入計	1	1	100.0%
		事業活動支出の部	資産処分差額	2	18,356
その他の特別支出			0	0	—
特別支出計			2	18,356	0.0%
特別収支差額			△ 1	△ 18,355	—
[予備費]			53,000	53,000	100.0%
基本金組入前当年度収支差額			277,364	497,951	55.7%
基本金組入額合計			△ 412,359	△ 472,050	87.4%
当年度収支差額	△ 134,995		25,901	△ 521.2%	
前年度繰越収支差額	2,214,923		2,189,023	101.2%	
基本金取崩額	0		0	—	
翌年度繰越収支差額	2,079,928	2,214,923	93.9%		
参考	事業活動収入計	8,137,648	8,152,728	99.8%	
事業活動支出計	7,860,284	7,654,777	102.7%		

(備考)上記表中「前年度比」は、各科目ごとの2022年度予算と2021年度予算を比較したものです。端数処理をしているため、合計額が一致しない場合があります。

books 刊行物 本学教員の著書を紹介します



『アンドレ・マルローと現代—ポストヒューマンイズム時代の〈希望〉の再生—』

杉浦順子 ほか著 ぎょうせい出版 2021年8月14日 428ページ 3,520円(税込)

神なき時代を生きる人間のヒロイズムを描き、みずからも行動する作家として両大戦間の知識人に多大な影響を与え、第二次世界大戦後は文化大臣として来日もはたした作家アンドレ・マルロー。本論集では日仏研究者が、文学的な視点に限らず、美術評や視覚芸術など多方面からマルロー作品の読み直しを試み、近代におけるヒューマンイズムについて考察しつづけた作家を、ポストヒューマンの時代といわれる現代に新たに位置づけていこうとしている。



『GRIHL(グリール)II 文学に働く力、文学が発する力』

杉浦順子 ほか編著 文芸事象の歴史研究会編 吉田書店出版 2021年11月7日 336ページ 4,950円(税込)

本書は、文芸作品を歴史の「史料」としてではなく、歴史事象そのものとしてアプローチするフランスの研究集団GRIHL(グリール=「文芸事象の歴史に関する学際研究グループ」)のメンバーと、彼らに触発された日本のフランス文学・歴史研究者による共同研究の成果論集である。文芸事象をめぐる権力/権威という共通テーマのもと、ディシプリンや研究対象の違いを超えて新たな学際的視点を提起すべく歴史家と文学者の対話=共同研究を試みている。

Thank you 退職教職員紹介

教員 法学部 教授 上谷 均(かみたにひとし) [1985.4.1～2022.3.31]	教員 法学部 教授 山田 健吾(やまだけんご) [2008.4.1～2022.3.31]	教員 法学部 助教 松本 和洋(まつもとかずひろ) [2020.4.1～2022.3.31]	教員 経済科学部 教授 有定 愛展(ありさだよしのぶ) [1986.4.1～2022.2.1]
教員 人間環境学部 教授 高橋 恭一(たかはしきょういち) [1995.4.1～2022.3.31]	教員 人間環境学部 准教授 坂本 智幸(さかもとともゆき) [2018.4.1～2022.3.31]	教員 健康科学部 学部契約教員(教授) 酒元 誠治(さけもとせいじ) [2017.4.1～2022.3.31]	教員 健康科学部 学部契約教員(教授) 嶋本 文雄(しまもとふみお) [2016.4.1～2022.3.31]
教員 健康科学部 学部契約教員(教授) 多山 賢二(たやまけんじ) [2017.4.1～2022.3.31]	教員 健康科学部 心理学基礎教育担当契約教員(講師) 楠瀬 悠(くすのせゆう) [2020.4.1～2022.3.31]	教員 健康科学部 健康栄養学科助手(助教) 三浦 康平(みうらこうへい) [2017.4.1～2022.3.31]	教員 国際コミュニティ学部 教授 矢部 恒夫(やべつねお) [1983.4.1～2022.3.31]
教員 国際コミュニティ学部 学部契約教員(教授) 中道 壽一(なかもちひさかず) [2019.4.1～2022.3.31]	教員 国際コミュニティ学部 学部契約教員(教授) 矢野 達雄(やのたつお) [2021.4.1～2022.3.31]	教員 国際コミュニティ学部 学部契約教員(准教授) 津崎 直人(つざきなおと) [2018.4.1～2022.3.31]	
職員 監査室 室長 平松 一尚(ひらまつかずひさ) [1980.4.1～2022.3.31]	職員 教務第2課 第1種契約職員 有本 貴子(ありもとたかこ) [2020.10.1～2021.9.30]	職員 総務課 第1種契約職員 江藤 優美(えとうゆうみ) [2018.4.1～2021.5.31]	職員 総務課 第1種契約職員 大久保 沙紀(おおくぼさき) [2019.4.1～2021.5.31]
職員 学生課 第1種契約職員 梶田 千春(かじたちはる) [2018.4.1～2021.9.30]	職員 学生課 第1種契約職員 國信 朋子(くにのぶともこ) [2019.4.1～2022.3.31]	職員 人事課 第1種契約職員 芹口 真由美(せりくちまゆみ) [2018.4.1～2022.1.31]	職員 教務第2課 第1種契約職員 武田 雅美(たけだまさみ) [2017.4.1～2021.8.31]
職員 教務第3課 第1種契約職員 竹本 志のぶ(たけもとしのぶ) [2018.1.1～2021.4.23]	職員 人事課 第1種契約職員 中本 美佐子(なかもとみさこ) [2019.4.1～2021.4.30]	職員 図書課 第1種契約職員 福本 さやか(ふくもとさやか) [2017.4.1～2022.3.31]	職員 教務第1課 第1種契約職員 福本 紗由里(ふくもとさゆり) [2018.4.1～2021.12.27]
職員 教務第2課 第1種契約職員 藤江 ともみ(ふじえともみ) [2021.11.1～2022.3.31]	職員 人事課 第1種契約職員 森下 美奈子(もりしたみなこ) [2017.4.1～2021.10.31]	職員 教務第2課 第III種契約職員 山坂 麻奈美(やまさかまなみ) [2019.4.1～2021.10.31]	

Welcome 新任教職員紹介

教員 人文学部 助教 中西 紘士(なかにしひろし) [初等体育科教育法、体育表現技術]	教員 法学部 教授 門脇 美恵(かどわきみえ) [行政法総論、行政救済法]	教員 法学部 助教 河内 紀彦(こうちのりひこ) [英語リーディング、英語リスニング]	教員 法学部 助教 前田 星(まえだほし) [西洋法制史]
教員 法学部 助教 柳道 周平(やなせこしゅうへい) [家族法]	教員 経済科学部 准教授 田神 慶士(たがみけいじ) [基礎解析]	教員 人間環境学部 助教 岡西 政典(おかにしまさのり) [生物学、生命科学]	教員 健康科学部 教授 勝岡 宏之(かつおかひろゆき) [解剖生理学、臨床医学]
教員 健康科学部 教授 木村 安美(きむらやすみ) [公衆栄養学、公衆栄養学実習]	教員 健康科学部 学部契約教員(教授) 亀井 勇統(かめいゆうとう) [食品微生物学、食品加工学、食品加工学実習]	教員 健康科学部 心理学基礎教育担当契約教員(講師) 八木 彩乃(やぎあやの) [心理学研究法、心理学実験、心理学調査実習、心理学概論]	教員 国際コミュニティ学部 教授 澤 俊晴(さわとしはる) [地方自治法、行政法]
教員 国際コミュニティ学部 助教 阿曾 沼 春菜(あそぬまはるな) [日本政治外交史、近代日本と戦争]			
職員 総務課 書記 久保 文乃(くぼふみの)	職員 財務課 書記 豊岡 将司(とよおかまさし)	職員 入学課 主事 道花 朋子(どうばなともこ)	職員 教務第2課 主事 橋本 直樹(はしもとなおき)
職員 キャリア支援課 主事 藤井 喬浩(ふじいたかひろ)	職員 人事課 主事 山口 千暎(やまぐちちあき)	職員 教務第2課 第1種契約職員 池田 拓(いけだたく)	職員 教務第1課 第1種契約職員 久米 瑛利乃(くめえりの)
職員 学生課 第1種契約職員 河野 千春(こうのちはる)	職員 人事課 第1種契約職員 日高 知恵(ひだかともえ)		

Event Guide

Hiroshima Shudo University

EVENT CALENDAR		(3/7現在)
2022	4 April	
4/ 1(金)	入学式	
4/ 4(月)～8(金)	新入生ガイダンス・オリエンテーション	
4/ 6(水)・7(木)	新入生定期健康診断 >>> GUIDE 日本学生支援機構奨学金進学届提出説明会	
4/ 6(水)～8(金)	前期履修登録	
4/ 8(金)	一人暮らしのための「新入生交流会」	
4/11(月)	前期授業開始	
4/11(月)・12(火)	卒業年次生、大学院生、定期健康診断 >>> GUIDE	
4/13(水)・22(金)	地域つながるプロジェクト・地域つながるスタートアッププロジェクト2022 募集説明会	
4/18(月)～22(金)	第1回就職ガイダンス	
4/25(月)・26(火)	公務員ガイダンス	
4/29(金)(昭和の日)	金曜日授業日	
4/30(土)	火曜日授業日	
5 May		
5/ 7(土)	水曜日授業日	
5/ 9(月)・10(火)	2年次生定期健康診断 >>> GUIDE	
5/10(火)～12(木)	広島修道大学合同企業説明会2023	
5/11(水)・12(木)	3年次生定期健康診断 >>> GUIDE	
5/14(土)	木曜日授業日	
5/16(月)～20(金)	第2回就職ガイダンス	
5/21(土)	後援会総会、保証人向けガイダンス >>> GUIDE	
5/28(土)	第1学期振替試験日	
5/30(月)～6/3(金)	第1学期試験(前期科目は授業実施)	
5/31(火)	図書館整理休館日	
6 June		
6/ 1(水)	成績優秀奨学生、学長表彰学生、資格取得学生等表彰式	
6/19(日)	受験生・保護者対象入試説明会 >>> GUIDE	
6/30(木)	図書館整理休館日 Uターン就職支援セミナー	
7 July		
7/ 2(土)	TOEIC L&R-IP等試験	
7/ 4(月)～29(金)	オンライン日本語・日本文化セミナー	
7/ 5(火)～ 7(木)	広島修道大学合同企業説明会2023	
7/ 6(水)	第3回就職ガイダンス(WEB(LIVE)配信)	
7/16(土)・17(日)	第1回・第2回オープンキャンパス >>> GUIDE	
7/18(月)(海の日)	月曜日授業日	
7/22(金)	図書館 夏の図書長期貸出開始	
7/25(月)	前期・第2学期試験(7/29迄、7/23:第2学期振替試験日)	



GUIDE

2022「修活！」
完全予約制 受験生・保護者対象入試説明会、オープンキャンパス
 入試説明会 6月19日(日)
 オープンキャンパス 第1回7/16(土)・第2回7/17(日)・第3回8/21(日)
 午前の部:10:00～12:30 午後の部:13:30～16:00
 ●学部学科プログラム ●キャンパスツアー ●在学生相談 ●学部別相談

WEBオープンキャンパス
 6月中旬～コンテンツ公開★学科紹介コンテンツ★模擬講義動画など
 ※イベントの名称・日程・内容等は変更になる場合があります。
 最新情報は入試情報サイトでご確認ください。
問合せ 入学センター Tel (082)830-1100
 入試情報サイト <https://www.shudo-u.ac.jp/admissions/>

後援会総会、保証人向けガイダンス
5月21日(土)〈修大講堂〉
 ※新型コロナウイルス感染状況によって、変更になる場合があります。
 ●後援会総会10:00～10:40 ●大学現状説明11:00～12:20
 ●昼食会12:30～13:20 ●保証人向けガイダンス13:30～14:30(予定)

学生センターより
 ≪自動車・バイク・自転車での通学について≫
 自動車・バイク・自転車での通学に関し、許可制(有料)となっています。年度毎に申請が必要です。学生には安全講習会を受講し、利用許可証(二輪の場合はステッカー)を取得することを義務づけています。自動車・バイク・自転車による通学を行う学生は、教学システムで詳細を確認し、手続きをしてください。
【問い合わせ先】学生センター Tel 082-830-1117

保健室より
 ≪定期健康診断について≫
 定期健康診断は学校保健安全法に基づき実施しています。病気の予防や早期発見につながり、健康状態を把握するうえで役立ちます。WEBサイト、掲示にて詳細を確認して受診してください。
 ≪トレーニングルーム利用者のメディカルチェックについて≫
 健康管理や事故防止のために、トレーニングルームを使用する際に保健室で検査と学医の診察が必要です。以下の日時よりメディカルチェックを保健室にて開始します。
 WEBサイト、掲示にて詳細を確認してください。
 ・新規にトレーニングルームを利用する人…5月初旬以降予定
 ・前年度から継続して利用する人…6月初旬以降予定
【問い合わせ先】保健室 Tel 082-830-1118

情報センターより
 ≪学内パソコン、ネットワークの利用について≫
 下記の場所に「ネットワーク利用申請書」を提出すると、利用者IDと初期パスワードが発行されます。発行後、初期パスワードを指定の方法により変更してください。各自のIDとパスワードで学内パソコン、ネットワークの利用ができます。
 ※利用者IDとパスワードを覚えていないと、授業等でパソコンを利用することができません。
【学部新入生】ガイダンス会場で発行済
【大学院新入生、その他利用者ID未取得者】情報センター事務室(学生証持参)
【問い合わせ先】情報センター Tel 082-830-1126

ひろしま未来協創センター(ピア・カウンター)より
 ボランティア講習会・地域活動勉強会を開催します。
 詳細については大学WEBサイト等で追ってお知らせします。
【問い合わせ先】ひろしま未来協創センター(ピア・カウンター) Tel 082-830-1409

学友会「梵鐵一心」

梵鐵一心(そうてついつしん)とは、第64期全員が心を一にし、困難な場面に直面しても柔軟に対応していくという意味を込め、自分たちで考えた言葉です。第64期では、歴代学友が作り上げた基盤をもとに、さらなる発展を目指します。

学友会 第64期執行委員会



●執行委員長

東 理人(ひがしりひと)
人間環境学部人間環境学科 3年
(広島県立高陽高校出身)

学友の皆さん、こんにちは。学友会第64期執行委員長の東理人です。「学友」とは、皆さんのような修大生全員のことをいい、学友によって構成され、大学からは独立した学生自治組織のことを学友会といいます。学友会には、書記局、会計局、厚生局、体育局、文化局の計5つの局があり、それぞれ業務は異なりますが、総勢21名がさまざまな活動を通じて学友の意見が反映されるように努めています。

また、学友会に所属する執行委員会は、学友の皆さんとより身近な距離で学友の代表として組織運営を行っています。大学生活で何か困ったこと、ご意見ご要望があれば気軽に学友本部まで訪ねてください。21名全員が全力でサポートします。

●書記局

学友会にかかわる行事を主としてさまざまな事業を行っています。大学祭実行委員会、卒業アルバム編集委員会、広報委員会などがあります。

後列左から 長棹連太郎、坂本遼太郎、倉田惇生、志間龍海
前列左から 越智菜々子、(局長)中井阿弥、廣本涼花



●会計局

学友会活動に経済的な基盤を与え、サークルの財政面の指導監査を行います。学友会が所有する複写機、車両などの備品管理・維持も行っています。

左から 森富志音、(局長)新田桜雪、柳田麻琴、西本耀



●文化局

修大文化を社会へ発信、還元するために活動しています。文化局所属サークル・団体が十分かつ円滑に活動できるように支援します。

左から 森山和輝、(局長)下東竜之介、永川愛莉



●体育局

体育会系のサークル・団体は明確な目標に向かって切磋琢磨し、日々の活動に励んでいます。イベントを企画運営し、サークル・団体の垣根を越え、体育局を盛大に盛り上げていきます。

左から 時光世那、(局長)清弘夏生、平野樹



●厚生局

学友の厚生面における改善、充実、発展を目標に、講習会などさまざまな活動を行っています。献血推進委員会では、献血の重要性を伝えています。

左から 山崎春花、(局長)大石悠生、秋山瑞貴



リーダー研修会

3月9日に、リーダー研修会を行いました。リーダーは、学友会について新入生に伝える役割を担っており、サークル所属学生の有志で構成されています。学友会では、毎年、有志学生に学友会の仕組みや学生自治の重要性、協議会の成り立ち等のリーダーとしての知識を授ける研修会を行っており、今年は110名が参加しました。研修会で学んだ内容は、4月に行われるクラスガイダンスで、リーダーから新入生に伝えます。ご協力いただいたリーダーの方々へ感謝申し上げます。



「学友2022」を刊行しました!

サークル・学友会の情報満載

新入生を中心に学友会のことを知っていただくために機関紙「学友」を発刊しています。「学友2022」は4月1日より食堂棟1階学友会本部前に設置していますので、ぜひご覧ください。

大学WEBサイトでもサークル情報を発信中!

大学WEBサイトでは、サークル・委員会のニュースや活動内容、大会・イベント等のスケジュールを紹介しています!

大学WEBサイト
<https://www.shudo-u.ac.jp/lifesupport/club/index.html>



サークルガイダンス

●4月8日(金) 9:30~15:00

【場所】体育館(体育局・小委員会)・3号館(文化局)

学友会では、新入生の皆さんが自分に合ったサークル・団体・小委員会を見つけるための場を提供しています。このガイダンスでは、感染防止措置を講じたうえで、文化局・体育局・書記局・厚生局からサークル・団体・小委員会がブースを出展し、それぞれの活動を紹介します。新入生の皆さんには、このガイダンスを通じ、学友会について理解してもらうとともに、自分にあったものを見つけ、これからの大学生活を楽しんでほしいと考えています。



サークル支援の体制と制度

学友会と大学及びその関連団体は連携して、学生の活発なサークル活動を支援しています。卒業生やサークルOB・OGなど、修大に関わる多くの人たちも、サークルをサポートしています。

【支援制度】

学友会からの活動資金支給のほか、大学及びその関連団体が、大会の遠征費用や学外施設の利用料などサークル活動に関わるさまざまな費用の援助、また、優秀な戦績・実績を残したサークルを表彰する制度を設けています。

大 学	援助金関係	1.学外の各種団体への加盟費用に対する援助金 2.公式大会に課外活動として参加する場合の援助金 3.課外活動にかかる用具等購入に対する援助金 4.課外活動指導者の臨時的招聘(しょうへい)に係る援助金 5.ヨット部の新艇庫等利用に係る援助金 6.アイススケート部のアイスリンク借り上げ代・貸切バス代援助金 7.スカッシュ部の練習場借り上げ援助金
	表彰関係	8.学長表彰 9.課外活動スカラシップ
後 援 会	後援会	10.全国大会出場サークルへ援助 11.サークル指導者の随行援助
	同窓会	12.サークル活性化援助金 13.特別援助
修 サ 連	修サ連	14.学友会加盟の体育局・文化局サークルが地方予選を勝ち抜き全国大会に出場する個人または団体への援助金 15.体育局サークル海外遠征の場合の援助金 16.体育局・文化局サークルが記念誌を発行する場合の援助金 17.文化局サークルの記念演奏会、記念発表会主催時の援助金(定期的なものは除く) 18.学友会推薦の体育局・文化局に属する各1~2サークルへの激励金

1



2



- ①入学試験を実施(2/1～5、3/4)
2月1日から5日にかけて一般選抜(前期日程)が、3月4日に一般選抜(後期日程)が行われました。
- ②Hiroshima Tour Guide Programを実施(3/10、11)
(P11 Topics5参照)

アンケートにご協力ください。

「広報誌TRUTH」および「本学広報」について、ご意見・ご感想をお聞かせください。
いただいたアンケート内容は今後の誌面作りおよび広報活動に活用させていただきます。
また、アンケートでプレゼントを希望された方の中から、抽選で修大オリジナルグッズをプレゼントします。

アンケートは以下のURLもしくはQRコードからWEB上にてご回答ください。

<https://forms.gle/FeFmd6aGwYaf2rC16>



PRESENT 修大オリジナルグッズセット
吉田拓郎オリジナルクリアファイル&ジェットストリーム(4色+シャープペンシル)



抽選で計20名様に『修大オリジナルグッズセット』をプレゼント!
(吉田拓郎オリジナルクリアファイル&ジェットストリーム(4色+シャープペンシル)*)

応募締切:6月20日(月)

※ジェットストリームは本体色黒、赤、青の何れか1点をプレゼント。本体色は選べません。
※当選者にはメールにてご連絡します。

広島修道大学公式SNS

各種SNSで修大の情報を発信しています。
ぜひフォローをお願いします!

